

2006 年度

科目名 米文学演習	対象学科・学年 英語学英米文学専攻	担当者 高村 博正
授業テーマ: Frank Galati によるアメリカのノーベル賞受賞作家 John Steinbeck の <i>The Grapes of Wrath</i> の戯曲化シナリオ(Play)を精読する。		
授業の概要と目標: 英語圏の児童文学の豊かな実りを展望する。作品を時代別に並べて論じるといった単なる「文学史」にはしない。時代と読者のアイデンティティーが自らの文学史を構築する。その礎になるのは確固とした自意識と児童の定義である。各「時代」と「思潮」の代表的な作品の抜粋を講読しながら、児童文学全体の流れを把握し、さらには現代の子ども文化とその特徴について論じたい。受講生の院生らしい創造的で学究的で、しなやかな発想と発表がクラスワークの柱となる。		
評価方法 毎回の授業参加と発表と討論を評価する。同時に、教師が学生を査定するという一方的な授業・講義方法を抜け出て、毎回院生が教師を評価する形式も取り入れたい。学年末の学生による教師評価とその改革案は、現在受講している学生に即適応されないという欠点があるからである。毎回の相互評価は、次回の授業でそれへの反応と対策が見守られている。両方向のインター・アクションを期待する。インターネット・サイトの有効利用をする。E-learning の教育支援システムを利用する。		
テキスト: <i>John Steinbeck's The Grapes of Wrath-Play Script by Frank Galati</i>	著者: Frank Galati	出版社: 英潮社
参考書: 図書館所蔵の高村の各種著書を各自で確認・参照しておくこと	著者:	出版社:
授業スケジュール・内容: 【前期】 【後期】 16. 『怒りのぶどう』（原作翻訳）3/4 討論と評価 17. 『テキスト pp. 70～75. の学生プレゼンと評価 18. テキスト pp. 76～80. の学生プレゼンと評価 19. テキスト pp. 80～88. の学生プレゼンと評価 20. 討論とプレゼン: 「原作と戯曲の相関関係」 21. 『怒りのぶどう』（原作翻訳）4/4 討論と評価 22. テキストの全体評価と討論（言語と文体） 23. テキストの全体評価と討論（思想と主張） 24. テキストの全体評価と討論（長所と欠点）価 25. テキストの全体評価と討論（劇化の意味）価 26. 映画『怒りのぶどう』討論と評価 27. 芝居『怒りのぶどう』討論と評価 28. 『はつかねずみと人間』他、スタインバック映画 29. 最終特別講演「スタインバックの劇的世界」 30. 後期テスト		